

事務事業及び予算の執行実績

(令和4年度分「一部、令和5年度分を含む。」)

静岡県立漁業高等学園

焼津市小川3747-2

T e l (054) 627-0219

F a x (054) 626-1056

目次

事務事業の概要	1
経済産業部 20 応募者及び入学者の状況	1 2
経済産業部 21 卒業生の進路状況	1 2
事業の根拠法令調	1 8
職員配置調	1 9
歳入予算執行状況調	2 0
預金調	2 2
郵券等受払調	2 3
歳入歳出外現金調	2 4
歳出予算執行状況調	2 6
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	2 8
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	2 9
委託料に関する調	3 0
負担金支出調	3 8
建築工事調	4 0
公有財産調	4 2
借地借家等調	4 3
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	4 4
行政財産貸付・使用許可調	4 5
備品・図書調	4 6
主要備品調	4 7
職員調	4 8
職員の年齢層	4 9
健康管理	5 0

事務事業の概要

1 概況

(1) 学園の沿革

漁業高等学園は、漁業を志す心身健全な若者を対象に、漁業の基礎的知識と技術を身につけさせ、次代の本県漁業を担う幹部漁船員を養成する目的をもって、昭和45年4月、職業対策部の出先機関として発足、以来現在まで1,015名の卒業生（令和4年度末現在）を輩出している。

学園施設の老朽化に伴い、実践的な実習教育、魅力ある教育環境を目指した施設整備を平成4年度から平成7年度にかけて行うとともに、入学資格年齢については、平成16年4月から中卒以上25歳未満に、平成22年4月から中卒以上30歳以下に引き上げ、幅広い層からの入学を可能とした。

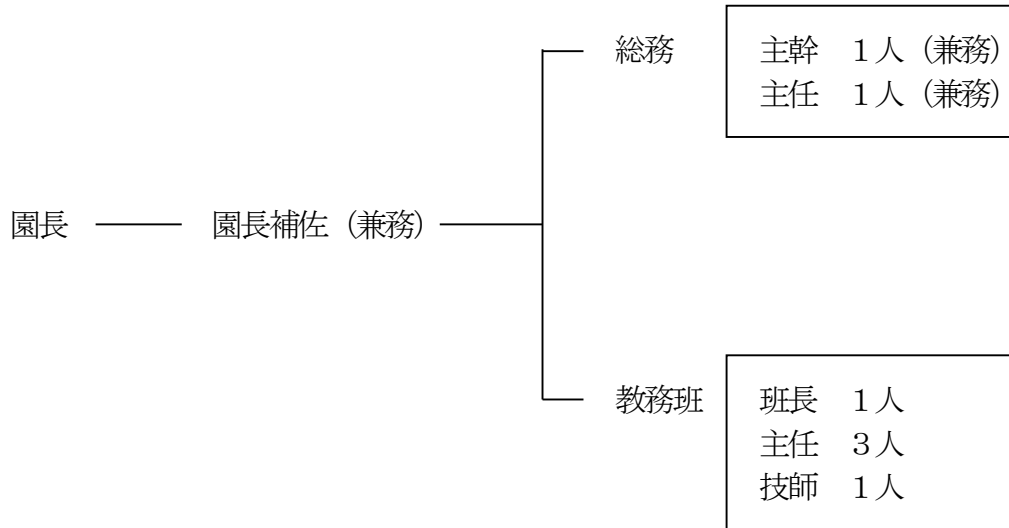
また、沿岸漁業従事者数の減少に対応するため、平成17年4月に沿岸漁業従事者の養成を目的とした年齢不問の「沿岸漁業コース」を設け、平成21年度までの間に38人の修了生を輩出した。

平成22年度から、航海科、機関科、沿岸漁業コースを統合した総合漁業科を設置し、平成31年4月には創立50周年の契機として定員を30名に増員した。

昭和42年4月	静岡県漁民研修所設置（経済部）
昭和45年4月	静岡県立漁業高等学園設置
昭和46年4月	行政組織規則の改正により、漁民研修所を吸収
昭和48年2月	実習用用地兼運動場として、隣接地1,300㎡購入、整地
昭和49年2月	昭和天皇、皇后両陛下下行幸啓
昭和54年11月	創立10周年記念式典挙行
昭和56年3月	隣接地3,057㎡追加購入、運動場完成
平成2年3月	漁業高等学園20周年誌発行
平成6年2月	国有地735.07㎡購入
平成7年1月	施設整備 教育棟・宿泊棟完成
平成8年1月	施設整備 実習棟・車庫・倉庫棟完成
平成8年3月	施設整備 正門・駐車場完成、現在に至る
平成12年3月	漁業高等学園30周年誌発行
平成16年4月	入学資格年齢を中卒以上19歳未満から中卒以上25歳未満に引き上げ
平成17年4月	沿岸漁業コースの新設（平成21年度6月終了・翌年度総合漁業科に統合）
平成22年4月	総合漁業科（航海・機関・沿岸漁業専攻を統合）開始
	入学資格年齢を中卒以上25歳未満から、中卒以上30歳以下に引き上げ
平成31年4月	創立50周年 定員を30名に増員

(2) 組織図

令和5年9月30日現在



計 9人 (うち3人兼務)

(その他会計年度任用職員等)

職 名	人 数
会計年度任用職員	5人
臨時的任用職員	—

(3) 施設の概要

所在地	焼津市小川3747-2				
敷地面積	7,452.68㎡				
施設	教育棟	鉄筋コンクリート造	3階建	延	905.00㎡
	宿泊棟	鉄筋コンクリート造	4階建	延	1,045.60㎡
	航海実習棟	鉄骨造	平屋建		333.13㎡
	機関実習棟	鉄骨造	平屋建		258.00㎡
	車庫・倉庫棟	鉄骨造	平屋建		102.60㎡
	渡り廊下	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	平屋建		90.97㎡
	自転車置場	鉄骨造	平屋建		14.00㎡
	艇庫	コンクリートブロック	平屋建		62.70㎡

ア 教育棟

- 1階 …… 職員室、園長室、会議室、書庫、保健室、機械室等
- 2階 …… 航海科・機関科教室、研修管理室、航海・機関シミュレーション室等
- 3階 …… 研修室・講義室・図書コーナー等

イ 宿泊棟

宿泊棟には4人用の宿泊室が14室整備されている。

- 1階 …… 宿泊室4室、浴室、洗面所、機械室等
- 2階 …… 宿泊室2室、浴室、食堂・厨房、舎監室等
- 3階 …… 宿泊室4室、洗面所、学習室等
- 4階 …… 宿泊室4室、洗面所、トレーニングルーム等

ウ 実習棟

- 航海実習棟 …… 漁労用具作成実習場、漁具・道具置場
- 機関実習棟 …… 4サイクルディーゼル機関(600PS)1基、発電機(20KVA)2基、機関遠隔操縦装置、複合卓上工作機等

2 事業の目的、計画、実績及び評価

漁業高等学園関連事業（令和4年度決算）

33,251千円

内訳 委託料 10,082千円

その他 23,169千円

(1) 漁業後継者養成事業（総合漁業科）

ア 目的

近年、国内の漁業経営は、国際的な社会情勢や水産資源の変化等により大変厳しい状況にある。特に、若年漁業従事者の新規就業者数は大きく減少しており、漁業者の高齢化が進行している。このため、若年漁業後継者育成の重要性は益々高くなっている。

また、情報通信機器の高度化や漁船の大型化なども進み、漁業を取り巻く環境は大きく変化していることから、漁船員にはこれらの情勢変化に的確に対応できることや、機関士や航海士など、大型漁船の運航に関する資格も要求されている。

こうしたことから、30歳までの若者を対象に、漁業に関する最新の知識・技能の教育・訓練を行うとともに、漁船での集団生活に慣れるための寮生活を通じて、将来リーダーとなれる漁業者を養成する。

イ 教育方針

(ア) 全寮制による生活指導教育

船舶職員として要求される協調性と責任感、時間厳守など規律ある生活習慣を身につけさせるため、1年間の全寮制により生活指導を行う。

(イ) 専門的な知識や技術の習得

総合漁業科として、航海、機関の2専攻を設け、それぞれ専攻に応じた航海・機関科目や水産の基礎知識などの座学・実習とともに、ロープワーク、漁具の製作など、漁業現場で必要な技能を習得させる。

(ウ) 免許及び資格等の取得

将来の航海士（船長）、機関士（機関長）の幹部職員を目指すため、四～五級海技士（航海、機関）の筆記試験合格を目指す。また、第一級海上特殊無線技士、一・二級小型船舶操縦士免許、溶接技術（ガス・アーク）や潜水技術等の講習により、小型船舶の船長としても就業できるよう様々な資格取得を目指す。

(エ) 実習船を活用した漁ろう技術等の習得

練習船「わかたか（6.6トン）」による沿岸航海実習や遠洋航海可能な大型の実習船による長期乗船実習を実施し、船上での作業や協同生活、漁場探査や漁ろう作業（カツオ一本釣等）などの体験により、卒業後は即戦力として活躍できるよう指導する。

(オ) 就業支援

県内漁業へ就業できるよう、就職懇談会の開催や求人先漁業関係者と生徒との相互の希望や適性を把握して面接等を行い、適切に指導・助言する。

(カ) カウンセリングの実施

精神的にも不安定な時期にある若年入学者に対応するため、カウンセラーによる面談を実施し、集団生活等による精神的な不安や悩みを解消する。

ウ 日課及び授業時間

(ア) 日課

点呼、諸活動	7:00	第 5 時限	13:00 ~ 13:45
朝 食	7:50	第 6 時限	13:50 ~ 14:35
朝礼(週始日)	8:30	第 7 時限	14:45 ~ 15:45
第 1 時限	8:40 ~ 9:25	第 8 時限	16:00 ~ 16:45
第 2 時限	9:30 ~ 10:15	夕食、自由時間	18:00 ~ 20:30
第 3 時限	10:25 ~ 11:10	自習時間	20:30 ~ 22:00
第 4 時限	11:15 ~ 12:00	点 呼	22:00
昼食、休憩	12:00 ~ 13:00	消 灯	22:30

(イ) 授業時間表

1学期

曜日 時限	クラス	月	火	水	木	金
1	A	運用術	内燃機関	補助機械	航海術算法	海事法規
	B					
2	A	運用術	内燃機関	補助機械	航海術	海事法規
	B					
3	A	水産技術	体 育	航海術	体 育	機関一般
	B					
4	A	水産技術	体 育	航海術	体 育	運用術
	B					
5	A	海洋気象	執務一般	内燃機関	船用電気	機関算法
	B					
6	A	実 習	実 習	実 習	水産技術	船用電気
	B					
7	A	実 習	実 習	実 習	実 習	
	B					
8	A	ホームルーム	クラブ活動	クラブ活動	実 習	
	B					

2学期

曜日 時限	専攻	月	火	水	木	金
1	航海	海事法規	運用術	航海術	航海術	海洋気象
	機関	舶用電気	舶用電気	執務一般	内燃機関	内燃機関
2	航海	海事法規	運用術	航海術	航海術	海洋気象
	機関	舶用電気	舶用電気	執務一般	内燃機関	内燃機関
3	航海	航海術	体 育	海事法規	体 育	運用術
	機関	補助機械		内燃機関		補助機械
4	航海	航海術	体 育	海事法規	体 育	運用術
	機関	補助機械		内燃機関		補助機械
5	航海	運用術	実 習	水産技術	航海術算法	航海術算法
	機関	執務一般			機関術算法	機関一般
6	航海	実 習	実 習	実 習	航海術算法	航海術算法
	機関				機関術算法	機関一般
7	航海	実 習	実 習	実 習	実 習	
	機関					
8	航海	ホームルーム	クラブ活動	クラブ活動	実 習	
	機関					

3学期

曜日 時限	専攻	月	火	水	木	金
1	航海	海事法規	運用術	航海術	航海術	海洋気象
	機関	舶用電気	舶用電気	執務一般	内燃機関	内燃機関
2	航海	海事法規	運用術	航海術	航海術	海洋気象
	機関	舶用電気	舶用電気	執務一般	内燃機関	内燃機関
3	航海	航海術	体 育	海事法規	体 育	運用術
	機関	補助機械		内燃機関		補助機械
4	航海	航海術	体 育	海事法規	体 育	運用術
	機関	補助機械		内燃機関		補助機械
5	航海	運用術	実 習	実 習	航海術算法	航海術算法
	機関	執務一般			機関術算法	機関一般
6	航海	実 習	実 習	実 習	航海術算法	航海術算法
	機関				機関術算法	機関一般
7	航海	実 習	実 習	実 習	実 習	
	機関					
8	航海	ホームルーム	クラブ活動	クラブ活動	実 習	
	機関					

エ 計画及び実績

(ア) 教育課程の内容

修業年限1年間を1学期(4月～7月)、2学期(8月～12月)、3学期(1月～3月)に区分し、1学期は全生徒が漁業に関する基礎知識を幅広く学び、2学期からは航海又は機関の専攻別授業に分かれ、それぞれ専門科目を履修する。

(イ) 令和4年度 教育計画及び実績

(月～木:8h、金:6h)

学期	月	始業日	終業日	稼働日数	うち休日	授業日数	授業時間数
1学期	4月	6日	28日	23(23)	6(6)	17(17)	126(130)
	5月	6日	31日	26(26)	8(8)	18(18)	136(136)
	6月	1日	30日	30(30)	8(8)	22(22)	168(168)
	7月	1日	22日	22(22)	7(7)	15(15)	114(112)
	学期計			101(101)	29(29)	72(72)	544(546)
2学期	8月	29日	31日	3(3)	0(0)	3(3)	24(24)
	9月	1日	30日	30(30)	10(10)	20(20)	152(152)
	10月	1日	31日	31(31)	11(11)	20(20)	154(154)
	11月	1日	30日	30(28)	5(4)	25(24)	196(190)
	12月	1日	20日	20(20)	2(2)	18(18)	140(140)
	学期計			114(112)	28(27)	86(85)	666(660)
3学期	1月	5日	31日	27(27)	8(9)	19(18)	148(140)
	2月	1日	28日	28(28)	9(9)	19(19)	144(144)
	3月	1日	10日	10(10)	2(2)	8(8)	58(58)
	学期計			65(65)	19(20)	46(45)	350(342)
全学期	総計			280(278)	76(76)	204(202)	1,560(1,548)

注: ()数字は計画

稼働日: 入学式(令和4年4月6日)～卒業式(令和5年3月10日)までの日

夏休み: 令和4年7月23日～8月28日

冬休み: 令和4年12月21日～令和5年1月4日

(ウ) 令和5年度 教育計画及び実績

(月～木:8h、金:6h)

学期	月	始業日	終業日	稼働日数	うち休日	授業日数	授業時間数
1学期	4月	6日	28日	23(23)	6(6)	17(17)	128(128)
	5月	8日	31日	24(24)	6(6)	18(18)	138(138)
	6月	1日	30日	30(30)	8(8)	22(22)	168(168)
	7月	1日	21日	21(21)	7(7)	14(14)	106(104)
	学期計			98(98)	27(27)	71(71)	540(538)
2学期	8月	28日	31日	4(4)	0(0)	4(4)	32(32)
	9月	1日	30日	30(30)	10(10)	20(20)	150(150)
	10月	1日	31日	(31)	(10)	(21)	(162)
	11月	1日	30日	(30)	(4)	(26)	(206)
	12月	1日	19日	(19)	(2)	(17)	(132)
	学期計			34(114)	10(26)	24(88)	182(682)
3学期	1月	9日	31日	(23)	(6)	(17)	(134)
	2月	1日	29日	(29)	(10)	(19)	(146)
	3月	1日	8日	(8)	(2)	(6)	(42)
	学期計			(60)	(18)	(42)	(322)
全学期	総計			132(272)	37(71)	95(201)	722(1,542)

注:実績は2学期の9月末まで。()数字は計画

稼働日:入学式(令和5年4月6日)～卒業式(令和6年3月11日)までの日

夏休み:令和5年7月22日～8月27日

冬休み:令和5年12月20日～令和5年1月4日

(エ) 令和4年度 科目別履修計画及び実績・時間数

注：()数字は計画

学 期	1 学期		2 学期		3 学期		全学期	
	専 攻	総合	航海	機関	航海	機関	航海	機関
航海術	23 (28)	62 (42)			36 (34)		121 (104)	23 (28)
運用術	30 (33)	40 (38)			31 (33)		101 (104)	30 (33)
海洋気象	13 (10)	15 (16)			14 (14)		42 (40)	13 (10)
海事法規	24 (26)	38 (26)			28 (24)		90 (76)	24 (26)
航海術算法	15 (12)	12 (34)			26 (26)		53 (72)	15 (12)
内燃機関	31 (29)		50 (45)			38 (36)	31 (29)	119 (110)
補助機関	17 (16)		32 (30)			28 (26)	17 (16)	77 (72)
船用電気	23 (25)		28 (30)			26 (26)	23 (25)	77 (81)
執務一般	11 (10)		23 (19)			17 (17)	11 (10)	51 (46)
機関一般	12 (13)		18 (16)			14 (14)	12 (13)	44 (43)
機関術算法	13 (13)		16 (16)			12 (12)	13 (13)	41 (41)
水産技術	32 (32)	9 (5)	9 (5)		0 (0)	0 (0)	41 (37)	41 (37)
体 育	42 (44)	30 (34)	30 (34)		22 (26)	22 (26)	94 (104)	94 (104)
進路指導	10 (10)	7 (8)	7 (8)		7 (7)	7 (7)	24 (25)	24 (25)
クラブ活動	18 (19)	16 (12)	16 (12)		12 (12)	12 (12)	46 (43)	46 (43)
遠洋乗船実習		232 (232)	232 (232)				232 (232)	232 (232)
乗船実習準備		24 (24)	24 (24)				24 (24)	24 (24)
総合実習	86 (82)	69 (65)	69 (65)		62 (62)	62 (62)	217 (209)	217 (209)
エンジン実習		12 (16)	12 (16)				12 (16)	12 (16)
海技士試験					16 (16)	16 (16)	16 (16)	16 (16)
海上特殊無線講習		56 (56)	56 (56)				56 (56)	56 (56)
小型船舶操縦士講習					80 (72)	80 (72)	80 (72)	80 (72)
溶接講習	40 (40)						40 (40)	40 (40)
潜水講習	40 (40)						40 (40)	40 (40)
救命救急講習	(4)						0 (4)	0 (4)
膨張式救命筏講習		8 (8)	8 (8)				8 (8)	8 (8)
視察研修	20 (16)	24 (24)	24 (24)				44 (40)	44 (40)
学園行事※	44 (44)	12 (20)	12 (20)		16 (16)	16 (16)	72 (80)	72 (80)
合 計	544 (546)	666 (660)	666 (660)		350 (342)	350 (342)	1,560 (1,548)	1,560 (1,548)

※入学式・卒業式等の行事、端艇遠漕・マラソン・遠泳大会等の訓練、就職懇談会等

(オ) 令和5年度 科目別履修計画及び実績・時間数

注：実績は2学期9月末まで。()数字は計画

学 期	1 学期		2 学期		3 学期		全学期	
	専 攻	総合	航海	機関	航海	機関	航海	機関
航海術	27 (29)	22 (48)			(34)		49 (111)	27 (29)
運用術	30 (31)	20 (40)			(30)		50 (101)	30 (31)
海洋気象	11 (10)	8 (18)			(10)		19 (38)	11 (10)
海事法規	22 (22)	16 (28)			(20)		38 (70)	22 (22)
航海術算法	12 (11)	16 (38)			(22)		28 (71)	12 (11)
内燃機関	32 (31)			23 (50)		(30)	32 (31)	55 (111)
補助機関	15 (18)			16 (34)		(24)	15 (18)	31 (76)
船用電気	21 (23)			16 (30)		(26)	21 (23)	37 (79)
執務一般	11 (11)			11 (20)		(14)	11 (11)	22 (45)
機関一般	12 (11)			10 (18)		(10)	12 (11)	22 (39)
機関術算法	11 (12)			6 (20)		(12)	11 (12)	17 (44)
水産技術	30 (31)	4 (6)	4 (6)		(0)	(0)	34 (37)	34 (37)
体 育	44 (44)	18 (34)	18 (34)		(24)	(24)	62 (102)	62 (102)
進路指導	10 (10)	4 (8)	4 (8)		(6)	(6)	14 (24)	14 (24)
クラブ活動	18 (20)	8 (13)	8 (13)		(12)	(12)	26 (45)	26 (45)
遠洋乗船実習		(232)	(232)				0 (232)	0 (232)
乗船実習準備		(24)	(24)				0 (24)	0 (24)
総合実習	84 (82)	34 (69)	34 (69)		(60)	(60)	118 (211)	118 (211)
エンジン実習		16 (16)	16 (16)				16 (16)	16 (16)
海技士試験					(16)	(16)	0 (16)	0 (16)
海上特殊無線講習		(56)	(56)				0 (56)	0 (56)
小型船舶操縦士講習					(72)	(72)	0 (72)	0 (72)
溶接講習	40 (40)						40 (40)	40 (40)
潜水講習	40 (40)						40 (40)	40 (40)
救命救急講習	4 (4)						4 (4)	4 (4)
膨張式救命筏講習	8	(8)	(8)				8 (8)	8 (8)
視察研修	16 (16)	16 (24)	16 (24)				32 (40)	32 (40)
学園行事※	42 (42)	(20)	(20)		(16)	(16)	42 (78)	42 (78)
合 計	540 (538)	182 (682)	182 (682)		0 (322)	0 (322)	722 (1,542)	722 (1,542)

※入学式・卒業式等の行事、端艇遠漕・マラソン・遠泳大会等の訓練、就職懇談会等

オ 評 価

(ア) 全寮制による生活指導教育

令和4年度は28人が入学、21人が1年間の全寮生活を修了し、船舶職員として要求される協調性と責任感、時間厳守など規律ある生活習慣を身につけさせることができた。令和5年度は15人が入学し、9月末現在まで13人が就学中である。

(イ) 専門的な知識や技術の習得

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で、当初計画していた座学、ロープワークなどの様々な実習等については計画通り実施し、漁業現場に必要な技能を習得させることができた。令和5年度においても、当初計画どおり進んでいる。

(ウ) 免許及び資格等の取得

令和4年度に実施された、海技士（航海、機関）の筆記試験を受験した21人の内、三級に1人、四級に4人、五級に7人が合格でき、将来の幹部職員としての道筋を付けさせることができた。また、生徒全員が、第一級海上特殊無線技士資格、一・二級小型船舶操縦士免許を取得でき、溶接技術（ガス・アーク）及び潜水技術講習のいずれも修了し、計画していたすべての資格等を取得することができた。

(エ) 実習船を活用した漁ろう技術等の習得

練習船「わかたか」による沿岸航海及び漁業実習について、計画通り実施できた。また、約1か月の大型実習船による長期乗船実習についても計画通り実施でき、船上での作業や協同生活、漁場探査や漁ろう作業（カツオー一本釣等）などの体験を通し、卒業後は即戦力として活躍できる自信をつけさせることができた。

(オ) 就業支援

令和4年度の卒業生21人は、すべて県内の漁業に就業することができた。遠洋漁業のマグロはえ縄漁業に3人、同カツオー一本釣り漁業に7人、沖合漁業のまき網漁業に5人、同サバ棒受網漁業に1人、同キンメ漁業に1人、沿岸漁業のしらす船曳き網漁業に2人、定置網漁業に1人、一本釣り漁業に1人であった。

令和4年度における40歳未満の新規就業者数は50人で、約3割が当学園の卒業生であったことから、県内の若年漁業就業者の確保に大きく寄与することができた。

(カ) カウンセリングの実施

学園生活に慣れない1学期を中心として、カウンセラーによる面談を年間計20回、1人あたり3～4回実施し、退学につながる兆候の早期発見に努めた。令和4年度については、自己都合により7人が退学した。令和5年度においては、寮の団体生活に馴染まず、漁業への就職意欲が減退し、一学期中の退学者が2人あった。

応募者及び入学者の状況

年 度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
課 程	定 員	応募者数	入学者数	応募者数	入学者数	応募者数	入学者数
総 合 漁業科	30	26	23	34	28	22	15
定員に対する充足率			76.7%		93.3%		50.0%

卒業生の進路状況

課 程 進路先		総合漁業科			計
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
自 営 (漁業)					
就 職	県内漁業関連	16	22	21	59
	その他				
進 学					
研 修					
その他					
計		16	22	21	59

(2) 漁業後継者養成事業（遠洋航海実習）

ア 目 的

実際の漁場探索、カツオ釣り、漁獲物の処理、保存等の体験を通じた漁ろう技術や船舶の運航技術など習得する。また、机上で学んだ理論を実際の現場で確かめるとともに、船上での責任感や協調性も養う。

イ 実 績

(ア) 日 程 令和4年11月18日（金）～12月15日（木）（28日間）

(イ) 使用船舶 県立焼津水産高等学校実習船「やいづ」（559ト）

（乗組員 船長：佐藤 祥、 機関長：天野 聡 ほか19人）

(ウ) 実 習 生 航海専攻11人、機関専攻12人、計23人

（県立焼津水産高等学校 航海工学科専攻科生16人合同実習）

(エ) 引 率 職 員 教務班：大村剛士班長、山中克哉主任

(オ) 行 程 ・ 内 容

月 日	入出港	内 容
11月18日	焼津出港	出港式
11月19日 ～11月22日	気仙沼入港	上陸研修
11月23日	広田湾大沢	カツオ釣用餌料積込み、 マリアナ海域漁場へ航海
11月29日 ～12月5日	漁場到着	マリアナ海域漁場到着 カツオ釣獲実習等
12月9日 ～12月12日	高知入港	上陸研修
12月13日	焼津入港	船内作業
12月15日	焼津碇泊	水揚げ実習

※ 航海中は、当番制により、機関及び航海当直を行った。

ウ 評 価

計画通り、28日間の遠洋航海実習を行うことができた。カツオ一本釣りの基本的な技術が習得できたほか、船舶の運航管理など、これまでの授業で学んだ知識が、現場で確認することができた。また、実習期間を通し、仲間との協調性や責任感を身につけることにつながった。なお、懸念していた船酔いについてもすべての生徒が克服でき、将来の乗船に自信をつけることができた。

(3) 漁業後継者養成事業（小型船舶操縦士講習）

ア 目 的

小型船舶は、主に沿岸漁業を中心として活用される漁業に必要であり、一級・二級小型船舶操縦士の取得を目指す。

イ 実 績

(ア) 日 程 令和5年1月10日(火)～1月19日(木)（9日間）

(イ) 講 師 JCI 日本小型船舶検査機構

(ウ) 内 容 小型船舶の船長としての基本ルールやマナー、海上で適用される法律、実技においては操船技術の習熟

ウ 評 価

生徒全員（22人）がすべての講習の受講を終了し、全員が小型船舶操縦士免許を取得することができ、目的は達成された。就業後の活用が期待できる。

(4) 漁業後継者養成事業（溶接講習）

ア 目 的

溶接技術は、漁具の作成や修繕等、漁業の現場に必要な技術として重要であり、基本的な知識、技術を習得する。

イ 実 績

- (ア) 日 程 ガス溶接：令和5年6月6日(火)、6月7日(水)
 アーク溶接：令和5年6月13日(火)～6月15日(木)
- (イ) 講 師 県立工科短期大学校
- (ウ) 内 容 アーク溶接等の業務にかかる特別教育及びガス溶接技能講習

ウ 評 価

生徒全員（14人）がすべての教育、講習等を修了することができた。目的は達成され、就業先での活用が期待できる。

(5) 漁業後継者養成事業（潜水講習）

ア 目 的

潜水技術は、主に沿岸漁業を中心として活用される漁業技術として重要であり、Cカード（ダイビングライセンス）の取得を目指す。

イ 実 績

- (ア) 日 程 令和5年7月3日(月)～7月7日(金)（5日間）
- (イ) 講 師 藤枝マリンダイビング
- (ウ) 内 容 潜水技術について、学科講習並びにプール及び海洋実技講習

ウ 評 価

生徒（14人）がすべての講習の受講を終了し、全員がCカードを取得することができ、目的は達成された。就業後の活用が期待できる。

(6) 漁業後継者養成事業（オープンキャンパス・見学説明会・情報発信等）

ア 目 的

将来、漁業者になることを目指したり、漁業に関心がある青年（中学生以上 30 歳まで）を対象として、授業や実習体験、施設見学等を行うことにより、学園を進路先に選ぶきっかけづくりとする。また、高等学校訪問やインターネットを活用した積極的な情報発信などにより学園の認知度を向上させる。

イ 実 績

	オープンキャンパス	見学説明会*	学校訪問
実施日 (回)	令和5年8月16日(水)、 17日(木)	令和4年度：5回 令和5年度：9回	令和4年5月：7回 令和5年 5月～7月：12回
内 容	概要説明	概要説明、施設見学	概要説明
参加者 数等	小学生1人、中学生 2人、高校生6人	令和4年度：中学生 4人、高校生4人、 社会人1人 令和5年度：中学生 4人、高校生7人、 社会人1人	令和4年度：73校 令和5年度：94校

	ホームページ*	ブログ*	Facebook*	X*
投稿 回数等	令和4年度：23回 令和5年度：21回	4年度：113回 5年度：131回	4年度：153回 5年度：116回	4年度：35回 5年度：94回
内 容	お知らせ、授業・ 実習等の動画投稿	授業・実習等の 写真投稿	授業・実習等の 写真投稿	授業・実習等の 写真投稿

※ 令和4年度は10月～3月末までの実績。令和5年度は4月～9月末までの実績
(オンライン説明会・出張説明会を含む)

ウ 評 価

令和5年度の見学説明会は開催回数を増加し、さらにオンライン説明会や出張説明会にも対応したことから、参加人数も増加し、計画通り実施することができ、目的は達成された。

見学者へ実施したアンケート結果から、学園の状況について理解が深まり、入学したいと回答した参加者は8割以上おり、次年度入学者の確保に大きな効果があった。

一方、オープンキャンパスは悪天候による交通の乱れによって当日、キャンセルが生じ、参加者が減少した。

また、学校訪問では進路指導教諭との面談により、学園の認知が向上した。さらに、学園のホームページやブログ、Facebookへの積極的な投稿により、学園の認知度向上に寄与した。

事業の根拠法令調

事業名	根拠法令
<p>漁業高等学園</p>	<p>静岡県行政組織規則 第48条 (平成19年 3月30日) (静岡県規則第29号)</p> <p>静岡県立漁業高等学園の設置及び管理に関する条例 (平成17年7月15日) (静岡県条例第61号)</p> <p>静岡県立漁業高等学園の設置及び管理に関する条例施行規則 (平成17年7月15日) (静岡県規則第69号)</p>

職 員 配 置 調

(令和5年9月30日現在)

区 分		総務スタッフ	教 務 班	計
所在地		焼津市		
担当区域		県下一円		
配 置 職 員	職員(事)	(2)		(2)
	職員(技)	1	2	3
	再任用職員(事)	(1)		(1)
	再任用職員(技)		3	3
	計	(3)		(3)
		1	5	6
	会計年度任用職員		(5)	(5)
	臨時的任用職員	—	—	—
	計		(5)	(5)
合計		(3)	(5)	(8)
		1	5	6

(注) 1 () は外数

2 「総務スタッフ」には、園長(技術職員)を含む。

3 「総務スタッフ職員(事)」は、全て兼務職員である(本務は水産・海洋技術研究所)。

歳入予算執行状況調

(令和4年度)

(一般会計)

区分	調定額 A	収入済額		不納 欠損額 D	収入未済額			収入 歩合 B+C A-D-F	納期内 収入率 B A-D-F	摘要
		納期内 B	納期後 C		納期限 経過 E	納期限 未到来 F	計			
款	円	円	円	円	円	円	円	%	%	
14 諸収入	573,472	573,472	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
項										
07 雑入	573,472	573,472	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
目										
02 雑入	573,472	573,472	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
節										
81 保険料負担金	407,847	407,847	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
非常勤職員	407,847	407,847	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
節										
84 雑収	165,625	165,625	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
計	573,472	573,472	0	0	0	0	0	100.0	100.0	

歳入予算執行状況調

(令和5年度)

(令和5年9月30日現在)

(一般会計)

区分	調定額	収入済額		不納 欠損額	収入未済額			収入 歩合 B+C A-D-F	納期内 収入率 B A-D-F	摘要
		納期内	納期後		納期限 経過	納期限 未到来	計			
		A	B		C	D				
款	円	円	円	円	円	円	円	%	%	
14 諸収入	80,597	80,597	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
項										
07 雑入	80,597	80,597	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
目										
02 雑入	80,597	80,597	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
節										
81 保険料負担金	80,597	80,597	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
非常勤職員	80,597	80,597	0	0	0	0	0	100.0	100.0	
計	80,597	80,597	0	0	0	0	0	100.0	100.0	

預 金 調

(令和5年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行焼津南支店	無利息型 普通預金	0020236	静岡県立漁業高等学園 資金前渡者 漁業高等学園長 野田浩之	0	給与等振込
静岡銀行焼津南支店	無利息型 普通預金	0258403	自振口 漁業高等学園 資金前渡者 漁業高等学園長 野田浩之	0	光熱費等振込
残 高 合 計				0	

郵券等受払調

(令和5年9月30日現在)
(単位：枚、円)

区分	種類	4年度				5年度				差引現在高	摘要				
		繰越		受入		払出		繰越				受入		払出	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			枚数	金額	枚数	金額
	1円券	188	188	-	43	43	-	145	145	-	6	6	139	139	
	10円券	124	1,240	100	1,350	1,350	89	890	-	27	270	270	62	620	
	50円券	48	2,400	-	18	900	30	1,500	-	8	400	400	22	1,100	
	63円券	1	63	1	63	-	2	126	-	-	-	-	2	126	
	84円券	189	15,876	201	16,884	29,736	36	3,024	300	25,200	168	14,112	168	14,112	
	92円券	97	8,924	-	23	2,116	74	6,808	-	1	92	92	73	6,716	生徒募集等
	100円券	80	8,000	100	10,000	13,000	50	5,000	100	10,000	39	3,900	111	11,100	
	120円券	36	4,320	100	12,000	12,000	36	4,320	100	12,000	25	3,000	111	13,320	
	140円券	78	10,920	50	7,000	13,020	35	4,900	100	14,000	45	6,300	90	12,600	
	320円券	168	53,760	-	77	24,640	91	29,120	-	-	10	3,200	81	25,920	
	計		105,691		46,947	96,805		55,833		61,200		31,280		85,753	

歳入歳出外現金調

(令和4年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
保 証 金	円 9,500	円 0	円 9,500	円 0	
計	9,500	0	9,500	0	

歳入歳出外現金調

(令和5年度)

(令和5年9月30日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
保 証 金	円 0	円 0	円 0	円 0	
計	0	0	0	0	

余 白

歳出予算執行状況調

(令和4年度)

(一般会計)

区 分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘 要
款 04 経営管理費	円 3,737,481	円 3,737,481	円 0	
項 01 経営管理費	3,737,481	3,737,481	0	
目 01 一般総務費	151,481	151,481	0	
節 04 共済費	151,481	151,481	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	151,481	151,481	0	
目 05 資産経営費	3,586,000	3,586,000	0	
節 14 工事請負費	3,586,000	3,586,000	0	
款 08 経済産業費	29,512,839	29,512,839	0	
項 01 経済産業費	1,360	1,360	0	
目 02 経済産業企画費	1,360	1,360	0	
節 08 旅費	1,360	1,360	0	
02 普通旅費	1,360	1,360	0	
項 08 水産・海洋費	29,511,479	29,511,479	0	
目 01 水産・海洋費	29,511,479	29,511,479	0	
節 01 報酬	6,495,048	6,495,048	0	
03 非常勤職員報酬	6,495,048	6,495,048	0	
節 03 職員手当等	1,245,176	1,245,176	0	
01 その他の職員手当等	1,245,176	1,245,176	0	
節 04 共済費	1,041,815	1,041,815	0	
01 地方公務員共済組合に対する負担金	165,843	165,843	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	875,972	875,972	0	
節 07 報償費	701,300	701,300	0	
01 その他の報償費	701,300	701,300	0	
節 08 旅費	555,182	555,182	0	
01 その他の旅費	174,702	174,702	0	
02 普通旅費	380,480	380,480	0	
節 10 需用費	7,553,577	7,553,577	0	
01 その他の需用費	7,553,577	7,553,577	0	
節 11 役務費	1,069,247	1,069,247	0	
節 12 委託料	10,081,229	10,081,229	0	
節 13 使用料及び賃借料	713,505	713,505	0	
節 18 負担金、補助及び交付金	29,500	29,500	0	
節 26 公課費	25,900	25,900	0	
計	33,250,320	33,250,320	0	

歳出予算執行状況調

(令和5年度)

(令和5年9月30日現在)

(一般会計)

区 分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘 要
款 04 経営管理費	円 598,528	円 213,528	円 385,000	
項 01 経営管理費	598,528	213,528	385,000	
目 01 一般総務費	213,528	213,528	0	
節 04 共済費	213,528	213,528	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	213,528	213,528	0	
目 05 資産経営費	385,000	0	385,000	
節 14 工事請負費	385,000	0	385,000	
款 08 経済産業費	32,964,220	11,766,603	21,197,617	
項 01 経済産業費	2,000	0	2,000	
目 02 経済産業企画費	2,000	0	2,000	
節 08 旅費	2,000	0	2,000	
02 普通旅費	2,000	0	2,000	
項 08 水産・海洋費	32,962,220	11,766,603	21,195,617	
目 01 水産・海洋費	32,962,220	11,766,603	21,195,617	
節 01 報酬	6,759,000	2,771,472	3,987,528	
03 非常勤職員報酬	6,759,000	2,771,472	3,987,528	
節 03 職員手当等	1,269,000	622,496	646,504	
01 その他の職員手当等	1,269,000	622,496	646,504	
節 04 共済費	1,519,000	410,411	1,108,589	
01 地方公務員共済組合に対する負担金	346,000	166,425	179,575	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,173,000	243,986	929,014	
節 07 報償費	781,000	376,030	404,970	
01 その他の報償費	781,000	376,030	404,970	
節 08 旅費	646,000	96,732	549,268	
01 その他の旅費	233,000	77,212	155,788	
02 普通旅費	413,000	19,520	393,480	
節 10 需用費	7,959,000	2,607,662	5,351,338	
01 その他の需用費	7,959,000	2,607,662	5,351,338	
節 11 役務費	1,170,000	421,247	748,753	
節 12 委託料	12,045,000	4,123,485	7,921,515	
節 13 使用料及び賃借料	757,220	307,568	449,652	
節 18 負担金、補助及び交付金	30,000	29,500	500	
節 26 公課費	27,000	0	27,000	
計	33,562,748	11,980,131	21,582,617	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和4年度)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					3年度	4年度	うち、3年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	経済産業費	水産・海洋費	水産・海洋費	10,237,190	10,081,229	
計					10,237,190	10,081,229	0
(14) 工事請負費	一般	経営管理費	経営管理費	資産経営費	3,157,000	3,586,000	
計					3,157,000	3,586,000	0
(16) 公有財産購入費							
計					0	0	0
(17) 備品購入費							
計					0	0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	経済産業費	水産・海洋費	水産・海洋費	29,500	29,500	
計					29,500	29,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年度)
(令和5年9月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、4年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	経済産業費	水産・海洋費	水産・海洋費	4,123,485	/
計					4,123,485	0
(14) 工事請負費	一般	経営管理費	経営管理費	資産経営費	0	/
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					/	/
計					0	0
(17) 備品購入費					/	/
計					0	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	経済産業費	水産・海洋費	水産・海洋費	29,500	/
計					29,500	0
(21) 補償、補填 及び賠償金					/	/
計					0	0

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額	
				当初額	変 更 増減額
1	給食業務委託	(株)シーアンドシー	6,003,800 円	4,775,999 円	0 円
2	日常清掃業務委託	ヤマダユニア(株)	990,000	990,000	0
3	建物警備業務委託	セコム(株)	673,200	673,200	0
4	一般廃棄物収集運搬処理 業務委託	(株)アドバンス中部サービス	221,100	181,500	0
5	産業廃棄物収集運搬処分 業務委託	(株)アドバンス中部サービス	249,150	156,750	0

関 する 調

(令和4年度)

計	契約締結方法	契約期間	支 出 年 月 日	金 額	委託業務の内容	摘 要
4,775,999 円	一般	R 4. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	4. 5. 25 6. 24 7. 25 8. 25 9. 26 10. 25 11. 25 12. 26 5. 1. 25 2. 24 3. 24 4. 24 ----- (小計)	398,000 398,000 398,000 398,000 398,000 398,000 398,000 398,000 398,000 398,000 398,000 397,999 ----- 4,775,999	給食	
990,000	随契	R 4. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	4. 5. 25 6. 24 7. 25 8. 25 9. 26 10. 25 11. 25 12. 26 5. 1. 25 2. 24 3. 24 4. 24 ----- (小計)	82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 ----- 990,000	建物日常清掃	随契一号 (少額)
673,200	随契	R 4. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	4. 5. 25 6. 24 7. 25 8. 25 9. 26 10. 25 11. 25 12. 26 5. 1. 25 2. 24 3. 24 4. 24 ----- (小計)	56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 ----- 673,200	建物警備	随契一号 (少額)
181,500	随契	R 4. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	4. 5. 25 6. 24 7. 25 8. 25 9. 26 10. 25 11. 25 12. 26 5. 1. 25 2. 24 3. 24 4. 24 ----- (小計)	15,125 15,125 15,125 15,125 15,125 15,125 15,125 15,125 15,125 15,125 15,125 15,125 ----- 181,500	一般廃棄物収集運搬処理	随契一号 (少額)
156,750	随契	R 4. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	4. 5. 25 6. 24 7. 25 8. 25 9. 26 10. 25 11. 25 12. 26 5. 1. 25 2. 24 3. 24 4. 24 ----- (小計)	13,062 13,062 13,062 13,062 13,062 13,062 13,062 13,062 13,062 13,062 13,062 13,068 ----- 156,750	産業廃棄物収集運搬処分	随契一号 (少額)

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額	
				当初額	変 更 増減額
6	自家用電気工作物保安管理 業務委託	(一財)中部電気保安協会藤枝 営業所	269,280	269,280	0
7	消防用設備保守点検業務委託	山本特殊設備(株)	302,500	275,000	0
8	潜水講習業務委託	(有)良和テント	1人あたり 33,000 諸経費 33,000	1人あたり 33,000 諸経費 33,000	0 0
9	空調設備保守点検業務委託	(株)富山冷熱工業	888,624	739,200	0
10	ボイラー保守点検業務委託	青島ポンプ工業(株)	99,000	99,000	0
11	定期清掃・害虫駆除業務委託	ヤマダユニア(株)	456,500	456,500	0
12	建築基準法第12条に基づく 定期点検業務委託	(株)大瀧建築事務所	209,000	209,000	0
13	機関実習棟機関設備保守点検 業務委託	(株)赤阪鐵工所焼津営業所	400,000	400,000	0
12	産業廃棄物(混合)収集運搬処 分 業務委託	(株)アドバンス中部サービス	96,800	96,800	0
	計	13 件	10,924,954	9,388,229	0

関 する 調

(令和4年度)

計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
269,280	随契	R 4. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	4. 5. 2	269,280	電気工作物保安管理	随契一号 (少額)
275,000	随契	R 4. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	4. 10. 25 5. 4. 24 (小計)	159,500 115,500 275,000	消防用設備保守点検	随契一号 (少額)
1人あたり 33,000 諸経費 33,000	随契	R 4. 6. 13 ~ R 4. 7. 29	4. 8. 8 (小計)	22人 726,000 諸経費 33,000 759,000	潜水講習	単価契約 随契一号 (少額)
739,200	随契	R 4. 5. 25 ~ R 5. 3. 31	4. 11. 30 5. 4. 24 (小計)	402,600 336,600 739,200	冷暖房設備保守点検	随契一号 (少額)
99,000	随契	R 4. 6. 1 ~ R 4. 8. 31	4. 9. 2	99,000	ボイラー保守点検	随契一号 (少額)
456,500	随契	R 4. 5. 25 ~ R 5. 3. 31	4. 9. 26 5. 4. 24 (小計)	151,250 305,250 456,500	建物定期清掃、害虫駆除	随契一号 (少額)
209,000	随契	R 4. 7. 20 ~ R 4. 9. 30	4. 10. 20	209,000	建築設備定期点検	随契一号 (少額)
400,000	随契	R 4. 9. 12 ~ R 4. 11. 30	4. 10. 31	400,000	ディーゼル機関システム実習設備保守点検	随契一号 (少額)
96,800	随契	R 4. 12. 9 ~ R 5. 3. 31	5. 3. 31	96,800	産業廃棄物収集運搬処分	随契一号 (少額)
9,388,229				10,081,229		

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額	
				当初額	変 更 増減額
1	給食業務委託	静岡給食協同組合	円 5,940,000	円 4,798,200	円 0
2	日常清掃業務委託	ヤマダユニア(株)	990,000	990,000	0
3	建物警備業務委託	セコム(株)	673,200	673,200	0
4	一般廃棄物収集運搬処理 業務委託	(株)アドバンス中部サービス	221,100	194,700	0
5	産業廃棄物収集運搬処分 業務委託	(株)アドバンス中部サービス	249,150	156,750	0
6	自家用電気工作物保安全管理 業務委託	(一財)中部電気保安協会藤枝 営業所	297,000	297,000	0
7	消防用設備保守点検業務委託	(株)日消機械工業	330,000	275,000	0
8	潜水講習業務委託	(有)良和テント	1人あたり 38,500 諸経費 49,500	1人あたり 38,500 諸経費 49,500	0 0
9	空調設備保守点検業務委託	(株)富山冷熱工業	888,624	739,200	0
10	ボイラー保守点検業務委託	青島ポンプ工業(株)	99,000	99,000	0
11	定期清掃・害虫駆除業務委託	ヤマダユニア(株)	456,500	456,500	0

関 する 調

(令和5年度)
(令和5年9月30日現在)

計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
4,798,200	一般	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	5. 5. 25 6. 26 7. 31 8. 25 9. 25 ----- (小計)	399,850 399,850 399,850 399,850 399,850 ----- 1,999,250	給食	
990,000	随契	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	5. 5. 25 6. 26 7. 25 8. 25 9. 25 ----- (小計)	82,500 82,500 82,500 82,500 82,500 ----- 412,500	建物日常清掃	随契一号 (少額)
673,200	随契	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	5. 5. 25 6. 26 7. 25 8. 25 9. 25 ----- (小計)	56,100 56,100 56,100 56,100 56,100 ----- 280,500	建物警備	随契一号 (少額)
194,700	随契	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	5. 5. 25 6. 26 7. 25 8. 25 9. 25 ----- (小計)	16,225 16,225 16,225 16,225 16,225 ----- 81,125	一般廃棄物収集運搬処理	随契一号 (少額)
156,750	随契	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	5. 5. 25 6. 26 7. 25 8. 25 9. 25 ----- (小計)	13,062 13,062 13,062 13,062 13,062 ----- 65,310	産業廃棄物収集運搬処分	随契一号 (少額)
297,000	随契	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	5. 5. 2	297,000	電気工作物保安管理	随契一号 (少額)
275,000	随契	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	5. 8. 25 ----- (小計)	149,050 ----- 149,050	消防用設備保守点検	随契一号 (少額)
1人あたり 38,500 諸経費 49,500	随契	R 5. 6. 19 ~ R 5. 7. 20	5. 8. 14 ----- (小計)	14人 539,000 諸経費 49,500 ----- 588,500	潜水講習	単価契約 随契一号 (少額)
739,200	随契	R 5. 6. 1 ~ R 5. 3. 31	----- (小計)	- ----- 0	冷暖房設備保守点検	随契一号 (少額)
99,000	随契	R 5. 6. 1 ~ R 5. 8. 31	5. 8. 28	99,000	ボイラー保守点検	随契一号 (少額)
456,500	随契	R 5. 6. 1 ~ R 5. 3. 31	5. 8. 25 ----- (小計)	151,250 ----- 151,250	建物定期清掃、害虫駆除	随契一号 (少額)

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額	
				当初額	変 更 増減額
12	建築基準法第12条に基づく 定期点検業務委託	(株)大瀧建築事務所	490,600	490,600	0
13	機関実習棟機関設備保守点検 業務委託	(株)赤阪鐵工所焼津営業所	400,000	400,000	0
	計	13 件	11,123,174	9,658,150	0

関 する 調

(令和5年度)
(令和5年9月30日現在)

計	契約締結方法	契約期間	支 出 年 月 日	金 額	委託業務の内容	摘 要
490,600	随契	R 5.7.21 ~ R 5.9.29		-	建築設備定期点検	随契一号 (少額)
400,000	随契	R 5.8.28 ~ R 5.11.30		-	ディーゼル機関システム実 習設備保守点検	随契一号 (少額)
9,658,150				4,123,485		

負 担 金 支 出 調

(令和4年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	焼津地区安全運転管理協会会費	焼津地区安全運転管理協会	定款	交通安全運転の推進	円 25,000	R4. 4. 15
2	安全運転管理者講習会参加負担金	静岡県公安委員会	道路交通法	安全運転管理者講習会参加負担金	円 4,500	R4. 7. 13
計		2 件	/	/	29,500	/

負 担 金 支 出 調

(令和5年度)

(令和5年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	焼津地区安全運転管理協会会費	焼津地区安全運転管理協会	定款	交通安全運転の推進	円 25,000	R5. 4. 17
2	安全運転管理者講習会参加負担金	静岡県公安委員会	道路交通法	安全運転管理者講習会参加負担金	円 4,500	R5. 8. 7
計		2 件	/	/	29,500	/

余 白

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	資産経営費	宿泊棟厨房空調更新工事	焼津市小川	円 1,166,000	円 1,166,000	円 0
2	資産経営費	教育棟2階教室エアコン設置工事	焼津市小川	2,475,000	2,420,000	0
		合 計	2 件	3,641,000	3,586,000	0

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	資産経営費	宿泊棟厨房ガス給湯器更新工事	焼津市小川	円 407,000	円 385,000	円 -
		合 計	1 件	407,000	385,000	0

事 調

(令和4年度)

額 計	契約 締結 方法	受注者	着 手 完 成 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要 (令達年月日) (最終支払日)
円 1,166,000	随契	株式会社 富山冷熱工業	4年7月28日 4年12月12日	円 1,166,000	宿泊棟2階の厨房の空調設備の更新	—	随契1号(少額) (4年5月30日) (4年12月27日)
2,420,000	随契	株式会社 富山冷熱工業	4年10月27日 5年3月17日	2,420,000	教育棟2階の2つの教室のエアコン新設	—	随契1号(少額) (4年8月16日) (5年4月5日)
3,586,000				3,586,000			

事 調

(令和5年度)
(令和5年9月30日現在)

額 計	契約 締結 方法	受注者	着 手 完 成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要 (令達年月日) (最終支払日)
円 385,000	随契	青島ポンプ工業 株式会社	5年8月10日 (6年1月31日)	円 —	宿泊棟2階の厨房のガス給湯器の更新	—	随契1号(少額) (5年6月16日) (—)
385,000				0			

公 有 財 産 調

(令和4年度)

区 分	令和4年3月31日 現 在		増		減		令和5年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産		千円 343,843		千円		千円 △ 15,819		千円 331,778	
土 地	m ² 7,452.68	136,607					m ² 7,452.68	136,607	
立木竹	本 50	449					本 50	449	
建 物	m ² <u>1,488.22</u> 2,812.00	205,235				△ 15,307	m ² <u>1,488.22</u> 2,812.00	189,928	
工作物	個 30	1,552	4	3,754	2	△ 512	個 32	4,794	
公有財産に準ずる もの		113						113	
電話加入権	件 3	113					件 3	113	

借 地 借 家 等 調

(令和5年9月30日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏名	用 途
				台 帳	現 況		単価	年額			
1	土 地	敷 地	焼津市小川 3899-14	漁 港 用 地	漁 港 用 地	m ² 6.96	円 -	円 無償	R3.4.1 ∩ R6.3.31	小川漁業協同 組合長	艇庫用地
2	土 地	敷 地	焼津市小川 3899-16 3899-18	漁 港 用 地	漁 港 用 地	m ² 129.84	円 -	円 無償	R5.4.1 ∩ R8.3.31	静岡県知事	艇庫用地
3	土 地	敷 地	焼津市小川 3690地先	漁 港 用 地	漁 港 用 地	本 1.00	円 -	円 無償	R5.4.1 ∩ R8.3.31	静岡県知事	案内標識 敷地
4	土 地	敷 地	焼津市小川 3793-8地先	公 共 用 地	公 共 用 地	m 58.7	円 -	円 無償	R3.4.1 ∩ R8.3.31	焼津市長	防球ネッ ト 設置

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和5年度)

(令和5年9月30日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)							
				3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
債務負担行為			円	円	円	円	円	円			
	電子複写機賃貸借	コピー機の賃貸借契約(1台) (契約日) 令和3年4月1日	990,000	円	円	円	円	円	円	円	円
長期継続契約	車両賃貸借	生徒送迎用車両の賃貸借契約(1台) (契約日) 令和3年6月16日	2,129,600	円	円	円	円	円	円	円	円
				271,040	464,640	464,640	464,640	198,000	198,000	464,640	198,000

行政財産貸付・使用許可調

(令和5年9月30日現在)

整理 番号	区分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使 用許可を受 けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	敷地	焼津市小川 3747-2		宅地	m ² 10.80	円 -	円 免除	R5.4.1 } R6.3.31	漁業高等学園 父母会長 漁業高等学園 後援会長	工作物 (物置) 設置
2	建物	事務所建	焼津市小川 3747-2		教育棟	m ² 0.05	円 -	円 免除	R2.4.1 } R7.3.31	焼津市長	地域防災無 線用アンテ ナ設置
3	土地	敷地	焼津市小川 3747-2		宅地	m ² 0.49	円 -	円 免除	R2.4.1 } R7.3.31	焼津市長	防災用避 難誘導灯 設置
合 計								円 0			

備 品 ・ 図 書 調

(令和4年度)

区 分	令和4年 3月31日現在	増		減		令和5年 3月31日現在
	数 量	数 量	購入価格	数 量	売却価格	数 量
01-02 台類	1	(0)	円 0	(0)	円 0	1
01-04 収納保管庫類	15	(0)	0	(0)	0	15
01-10 印判類	3	(0)	0	(0)	0	3
01-13 厨房器具類	5	(0)	0	(0)	0	5
01-99 その他の庁用器具類	1	(0)	0	(0)	0	1
02-01 情報処理機器類	7	(0)	0	(0)	0	6
02-02 情報伝達機器類	3	(0)	0	(0)	0	3
04-01 診療・診断用機器類	1	(0)	0	(0)	0	1
05-09 天体気象観測機器類	2	(0)	0	(0)	0	2
06-02 金属加工用機器類	2	(0)	0	(0)	0	2
07-01 農産用機器類	1	(0)	0	(0)	0	1
07-04 水産用機器類	9	(0)	0	(0)	0	9
08-01 車両類	2	(0)	0	(0)	0	2
08-02 船舶類	4	(0)	0	(0)	0	4
09-01 標本美術品	8	(0)	0	(0)	0	8
10-12 体育保健用器具類	9	(0)	0	(0)	0	9
10-99 その他の教育用器具類	16	(0)	0	(0)	0	16
計	89	(0)	0	(0)	0	88

令和5年度中増減なし

主 要 備 品 調

(令和5年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品 名 規 格	利 用 状 況	購入年月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	10-99	その他の教育用器具	船用ディーゼル機関システム 実習装置	(年間50日) 機関の取扱い・実習	平成8年1月	円 115,360,000
2	08-02	船舶	実習船わかたか 6.6トﾝ FRP製	(年間60日) 操船実習、航海計器の取扱い	平成25年2月	51,051,882
3	10-99	その他の教育用器具	操船シミュレーター装置 操船・操舵トレーナー	(年間20日) 操舵原理の理解と操船実習	平成7年2月	8,806,500
4	10-99	その他の教育用器具	船舶シミュレーション機器 カラービデオプロッタ、漁群探知機、レーダー	(年間20日) カラービデオプロッタの取扱い	令和1年8月	5,378,400
5	09-01	展示品	レーダー BR-2510C-24	(年間20日) レーダーの取扱い	平成7年2月	5,150,000
6	10-99	その他の教育用器具	CNC卓上複合工作機械	(年間20日) 工作機械の取扱い	平成8年1月	3,605,000
7	08-02	ボート	ボート 9mカッター オール12本付	(年間25日) 心身の鍛練と漕艇訓練	昭和54年5月	3,372,000
8	10-99	その他の教育用器具	甲板機械教材実習設備 揚錨機	(年間10日) 機器の作動説明	平成7年12月	2,430,800
9	09-01	模型	ボイラー模型 コクラン式	(年間18日) ボイラーの取扱い	昭和58年11月	2,300,000
10	09-01	模型	模型 可変ピッチ	(年間10日) プロペラの説明	平成2年12月	2,299,990
11	10-99	その他の教育用器具	燃料噴射ポンプ実験装置 INP-1-1000	(年間15日) 燃料噴射ポンプ作動原理の説明	平成7年2月	2,196,784
12	09-01	模型	教材用船体構造模型 ケース付	(年間20日) 船体構造の説明	平成7年3月	2,163,000
13	01-13	調理器具	スチームコンベクションオープン MIC-6SA-G-L	(年間180日) 調理器具	令和1年8月	1,402,920
14	10-99	その他の教育用器具	冷凍装置シミュレーター IA型	(年間20日) 機器の作動説明	平成7年2月	1,359,600
15	09-01	展示品	魚群探知機 FCV-140	(年間15日) 魚群探知機の取扱いと説明	平成7年2月	1,266,900
16	10-99	その他の教育用器具	風向風速計 FW-200	(年間365日) 取扱い説明と気象観測	平成7年2月	1,030,000
17	09-01	展示品	方向探知機 FD-160	(年間15日) 方向探知機の取扱いと説明	平成7年2月	978,500
18	01-04	たな	中量棚 R486kg	(年間365日) 物置棚	平成8年2月	865,200
19	10-99	その他の教育用器具	遠心ポンプカットモデル CP-2103M	(年間10日) 機器の作動説明	平成7年2月	850,368
20	10-12	バスケット用器具	セノーバスケット板 プラスチック板W1800*H1	(年間10日) 体力増強	平成8年2月	731,557

職 員 調

(令和5年9月30日)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	園長(技)	野田 浩之	総括	□□□□	□年□月	
	園長補佐(事)	梶本 英明	総括補佐	□□□□	□年□月	

(総務)

	主幹(事)	山本 裕介	総務会計	□□□□	□年□月	
	主任(事)	櫻井 雅之	総務会計	□□□□	□年□月	

(教務班)

2	班長(技)	大村 剛士	航海科担当	□□□□	□年□月	
3	主任(技)	杉本 泰司	航海科担当	□□□□	□年□月	
4	主任(技)	久保田 容正	機関科担当	□□□□	□年□月	
5	主任(技)	吉田 彰	航海科担当	□□□□	□年□月	
6	技師	日野山 宗一郎	機関科担当	□□□□	□年□月	

(会計年度任用職員)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	会計年度任用職員	久保山 隆志	教務・実習	□□□□	□年□月	
2	会計年度任用職員	池野 照司	運転・総務	□□□□	□年□月	
3	会計年度任用職員	山下 悦夫	舎監	□□□□	□年□月	
4	会計年度任用職員	中嶋 正志	舎監	□□□□	□年□月	
5	会計年度任用職員	松永 清	舎監	□□□□	□年□月	
	(計 5名)					

職員の年齢調

(令和5年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	1人	
30歳以上40歳未満	0人	
40歳以上50歳未満	0人	
50歳以上56歳未満	0人	
56歳以上61歳未満	2人	
61歳以上	3人	再任用3名
計	6人	平均年齢 54.3歳

健康管理

1 令和4年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者 6人 職員数 6人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1)未受診
・該当なし

2 令和5年度在籍者の健康診断結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	3人
D 2		要経過観察	1人
D 3		医 療 不 要	2人
区 分 者 計			6人
未区分者計			0人
合 計			6人

(1) 管理区分A～C 2該当者
に対する措置状況
・該当なし

(2) 未区分
・該当なし

ア 産休・育休	人
イ 新規採用	人
ウ 自己都合による未受診	人
エ その他	人
()	人